

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.23

発行者 沼津国際交流協会
(企画広報部会)

所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所国際交流室内
☎0559-34-2529



さあ、声を合わせて！

12月1日、沼津勤労者体育センターで在住外国人とのスポーツ交流会を開催し、バドミントンや綱引き、新種目の11人12脚競走などで心地よい汗をかきました。

活動あれこれ

国際理解教育講演会

★第3回（シリーズ最終回／12月8日，市立図書館視聴覚ホール）

まず、イギリス出身のグレアム・ロレンスさん（静岡県立大学2年生・ふじのくに親善大使）が、イギリスのカントリーサイドについて講演しました。

イギリス人にとって田舎の生活は憧れで都会から引っ越す人も多いとのこと。バスが1週間来なくても、多くの自然や動物に囲まれた生活に魅力を感じるという話に、過疎化が問題となっている日本とは田舎のとらえ方が違うことを感じさせられました。



次に、ペルー出身のロドルフォ・レケナ・ミナミさん（静岡大学3年生・ふじのくに親善大使）が、文化と音楽について講演しました。

4千種類もあるジャガイモやナスカの地上絵のこと、ペルーを旅行する時にはカバンは持たずに両手をポケットに入れてスリに注意することなどを解説するとともに、ギターで民族音楽も披露。日本で日系人として区別された経験から「国際理解のためには言葉ではなく思いやりの心が大切」と結びました。



クリスマスパーティー

12月12日、カラマズー市出身のジム、デレック、ダニエルの3人を交えて、少し早めのクリスマスを祝いました。

昨年のように生バンド演奏をバックのパーティーを期待して会場を選んだのですが、それは都合が合わず、かわりにゲームをしたり、カラマズーの歌を教えていただいたりして、楽しいひとときを過ごしました。



第5回 春節祭

2月9日、中国の正月を祝う春節祭をピアオオトミで開催しました。中国人をはじめ他の在住外国人も多数参加して、来場者は約300人。

琴の演奏や中国語の歌、太極拳、各種ゲームや中国人による寸劇、また中国画や書道、友好都市・岳陽市の紹介展示もあり、中国のポピュラーな正月料理・水餃子などを食しながらの早春の一日は、実ににぎやかでした。





カラマズー市

NICE 派遣 留学生報告

岳陽市



☆植松久恵さん（昨年9月からホームステイをしながらカラマズー市立高校に留学中）

こちらに来てもうすぐ半年が経ちます。毎日が充実していて1日がとても早く過ぎていきます。

学校ではいろいろな行事があって、たくさんの方に挑戦しています。9月～11月はクロスカントリーのクラブに入れていただいて、毎日放課後に3～8マイルほど走り、大会にも出場しました。11月からは合唱とシンフォニックバンドのクラスに所属し、クリスマスパレードで演奏をしました。今は3月に上演するミュージカルの練習に励んでいます。

ホストファミリーは、とてもあたたかくて素敵な家庭です。「7月には一緒にお祝いできないから」と、私の17歳半の日にホストファミリーがハーフバースデーパーティーを開いてくれました。

残りの4カ月もいろいろなことを体験して、たくさんの方のことを学ぼうと思っています。



☆松尾チズヨさん（昨年9月から岳陽高等師範専科学校へ留学し、12月に帰国）

私の中国・共産国家のイメージは、過酷で軍国主義的なものでしたが、学校の新入生の軍事教練は一週間だけで、昼休みは3時間もあり、実にのんびりしたものでした。

学生は非常に勤勉で、日曜日の夜も校舎で自習をしている人が多くいました。日本語を習いたいという子どもや社会人に何人も出会い、旅

をした折には、農家の壁に「教育」「学習」という字をよく見かけました。中国人は日本を先進国とみなし、尊敬しているように思います。中国人は自国の現状を自覚し、謙虚に学ぶという姿勢があります。日本人は対等な立場で中国を援助指導すべきだと思います。



☆杉山亜希さん（昨年9月から岳陽高等師範専科学校へ留学し、12月に帰国。NICE 会員）

久々に中国を訪れて特に感じたことは、経済の急成長と生活の着実な向上の陰で、地域間・業種間・都市農村間・階層間における所得・生活面での格差が一段と拡大していたことです。

岳陽は都市規模のわりには不便に思える点もありましたが、以前、大連に留学していた経験もあってか、さほど抵抗は感じませんでした。

滞在中は一人旅にも出かけました。ユネスコの世界遺産に登録されている山東省の孔子の故郷・曲阜と歴代公邸の封禪の儀式で知られる泰山きよくふが特に印象に残っています。泰山は登頂を果たすと永遠の命が得られるという信仰があり、泰山詣で登頂を果たせて大満足でした。



告

昨年3月から岳陽市内で日本語の教師を務めていた NICE 会員の飯塚信子さんが、2月上旬に帰国しました。次号には飯塚さんの帰国報告を掲載する予定です。

日本で生活して思うこと

毎週土曜日に市立図書館で開催している「日本語を語る会」には、毎回12～15人の外国人が参加して日本語会話の練習をしています。そこで、ここに参加している3人に、日本の印象や生活などについて話を聞きました。



杉本アキヒロさん
(ブラジル)
日本滞在5年
会社員

道前 自分の国と日本とはどんな点が違いますか。

杉本 日本は何よりも安全で安心ということですね。

阿部 私もそう思います。それに食べ物おいしいし、環境もきれいです

道前 生活や仕事の面ではどうですか。

阿部 いろいろ違いますね。私の国では家族が多くて助け合っていますけど、今は自分が何でもやらなくてはならないので大変です。

道前 その点、福崎さんは16歳で楽しいこといっぱいじゃないんですか。

福崎 楽しくはないです。これからの人生、何を勉強して何をすべきかをよく考えないと…。いろいろと悩んでいます。

杉本 仕事では日本人同士という感じになっていて嬉しいです。まあ人間関係の悩みもありますけどね。

道前 日本の食べ物はどうでしょうか。

杉本 何でも食べますけど納豆だけは全然ダメですね。ニオイとネバネバがもう…。

福崎 納豆はニオイはスゴイけど、食べればおいしいです。栄養もたくさんあるし。

道前 日本では1日に30種類の食物をとりなさいと言われてるんですよ。

杉本 大変ですね。それに日本に来ている人の多くは少しでも稼いだお金を国に送ろうと、食費などは切りつめていますから…。

道前 切りつめて緊張した生活というのも…度が過ぎるとどうですかねえ。

杉本 だから病気になったりストレスが溜まってしまいうんですよ。外出をしない人もいて、それが5年や10年と続けばダメになってしまう。僕は来年帰ろうかと思っています。

道前 阿部さんは国に帰るというわけにはいきませんよね。里帰りはあるでしょうけど。

阿部 そうですね。子どもの成長や学校のこともあるし…永住権が欲しいです。

杉本 永住権を取るのには日本は厳しい。いろいろ面倒で、お金も時間もかかる…僕はやめました。

道前 日本人についてはどう思いますか。

阿部 うちの主人、優しいです。家事や育児もやってくれるし…。

杉本 優しいと思います。何でも教えてくれるし。

福崎 優しい人もいるけど

頑固っぽい人もいて、いろいろいますよね。

道前 日本語についてはどうでしょう。

杉本 いつも使わないと覚えませんね。それに僕はこの会で、友だち同士では使わない敬語を教わりました。敬語はどこへ行っても通じるし、ここに来て良かったと思います。

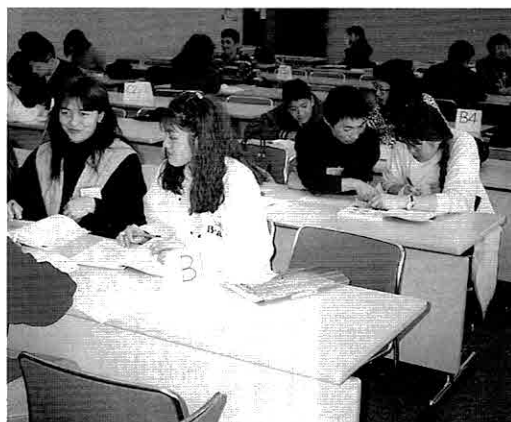
阿部 私はその言葉、できないから習いたいです。

杉本 それと、漢字の読み書きもここでやってもらえたらなあと思っています。

道前 日本語を教える側はきちんとした日本語を教えないと…みなさんが恥をかきますからね。



福崎パメラさん
(ペルー)
日本滞在5年
無職



阿部ジェニファーさん
(フィリピン)
日本滞在4年
主婦



聞き手
道前聡子さん
(NICE 会員)

TEA TIME



タイ訪問記

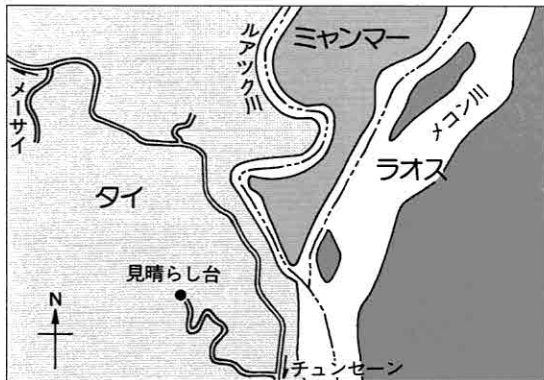
北部ゴールドトライアングル地域を巡って〈その2〉

「タイ・ラオス・ミャンマー国境地帯見聞録」 青木章夫 (NICE 会員)



タイ入国3日目。あかつき寮訪問の後にラフ族の村やその小学校を訪問し、今の日本では望むこともできないゆったりした時間の流れを感じながら、もう一つの目的地であるタイ、ラオス、ミャンマーの国境が接するゴールドトライアングル地域へ車で向かいました。私たちはこの地名を聞き、何か危ない秘境を想像しつつ、国境の川・メコンを目指しました。

途中、13世紀から16世紀に王国のあった古都チェンライの町を過ぎ、メコン川の西岸に栄えた寺院が点在する歴史のある小さな町・チェンセーンに到着。仏舎利塔が建つ郊外の丘に上がり、町並みとメコン川のゆったりとした流れや対岸のラオスを展望しながら一休み。ここから眺めた未知の国・ラオスは、深い緑のジャングルに覆われた小高い丘と遠くには山が連なり、赤い泥で濁るメコン川対岸の森の中には家が垣間見られ、立ちのぼる炊事の煙とどんよりとした空気の中の静けさが、この地域に平和が戻ったことを感じさせました。



その後、メコン川に沿って車はミャンマー方面へ北上。途中、タイとミャンマーを分ける川とメコン川に挟まれたミャンマー領の小さな三角州（ここがゴールドトライアングル地帯の由来）を眺望しましたが、この道の両側には小さな土産物屋が並び、典型的な観光地の様相をみせていました。また、中国雲南省方面への連絡船の船着場や大きなホテルもあり、秘境や危険などとは無縁な地域に変貌していました。

私たちの宿泊ホテルは三角州のすぐ北側、ミャンマーとの国境に接した小高い丘にある外国

資本のリゾートホテルで、宿泊客の多くも欧米人のようでした。滞在中、日本人には数人に会っただけで、まだまだここまで来る日本人観光客は少ないことを実感しました。

翌日は、タイ最北の町・メーサイから国境の川に架かる橋を渡ってミャンマーへ入国。小さな事務所で入国手続きをしている私たちを後目にタイ、ミャンマーの双方から現地の大勢の人たちがバイクや車、徒歩で簡単に行き来しているのが印象的でした。



足を踏み入れた町・タチレクは、国境貿易で成り立っているようでした。一帯には2～3階建てのビルが連なり、どのビルも1階が店になっていて、ミャンマー製や中国製の雑貨や土産物、木製品、また、この地で産するルビーやサファイアを取り扱う宝石店など様々な店を目にしました。商品も豊富で活気にあふれ、国境の町とはいえその姿からミャンマーの一面を見た思いがしました。

タチレクの町からタイ側に戻った後、メコン川をボートでさかのぼり、ミャンマーとラオスの岸辺に近づいて両国の国境地帯の様子を見ることができました。ミャンマー側には家はほとんどなく人影も見えませんでした。ラオス側の川岸では子どもたちが何人も元気に水遊びをしたり、農家のおじさんが麦わら帽子をかぶって上半身裸で水牛を川で洗っているなどのんびりした風景で、過去永いこと国境が閉鎖され「閉ざされた国」と言われていた国とは感じられませんでした。わずかに見ただけのミャンマー、ラオスの国ですが、やはり確実に変化しているようです。(終)

国際交流なんでも情報室

海外で安全に身を守る方法を学ぶ

国際理解講演会を開催します

- と き 3月8日(土)、午後6時30分開場、
午後7時開演
- と ころ ブケ東海(寿町)
- 演 題 今、日本人はねらわれている！
—海外における日本人の危機管理
と安全対策—
- 講 師 日本大学国際関係学部教授
大泉光一氏
- 定 員 150人(参加無料/来場先着順)
- 問 合 せ NICE 事務局 ☎34-2529

参加者大募集

国際交流・ぬまづ歴史めぐりバスツアー

- と き 3月16日(日)、午前9時～午後4時
*雨天決行
- 行 程 沼津駅→光長寺(境内と仁王門見
学)→イチゴ狩り→沼津御用邸記
念公園(園内および西附属邸と歴
史民族資料館見学、昼食)ほか→
沼津駅・解散
- 定 員 外国人60人、日本人60人 要予約
- 参 加 費 1人1,000円(昼食代)
- 集 合 午前9時までに沼津駅北口
※知り合いの外国人がいましたら、お
誘い合わせてぜひご参加ください！
- 申込み・問合せ NICE 事務局 ☎34-2529

岳陽市友好訪問団

黄市長らが沼津市を訪れます

友好都市・岳陽市の友好訪問団が3月下旬に沼津市を訪問することになりました。訪問団員は岳陽市長・黄甲喜氏ら7人で、NICEでは受入れの準備を進めています。

- 日 程 3月26日(水)～30日(日)(沼津滞在)
*一行は、沼津訪問の後に東京や
京都などを訪れる予定です

留学生を募集

カラマズー市公立高校へ1年間

- 留学期間 8月～平成10年7月
- 科 目 先方の公立高校の教育課程による
- 費 用 往復の旅費、小遣い等
*授業料は免除、滞在中は一般家
庭にホームステイ
- 定 員 1人
- 応募資格 4月現在沼津市内に住む高校生で
学校長の許可が得られる人
- 応募書類 留学申込書、住民票の写し、在学
証明書、学校長の許可書、成績証
明書
- 応募期限 4月15日(火)
- 選 考 会 4月26日(土)
- 申込み・問合せ NICE 事務局 ☎34-2529

留学生を募集

岳陽高等師範専科学校で学ぼう

- 留学期間 9月～平成10年8月
*6カ月、3カ月でも可
- 専攻科目 ①中国語(基礎漢語)
②中国画
③中国武術
*①～③の中から選択(2科目以
上の選択も可)
- 費 用 自費
*宿舎先は学校側で用意
*学費は科目の選択方法により異
なります
- 定 員 なし
- 応募資格 高校卒業以上の健康な人
- 応募書類 留学申込書、パスポートの写し、
成績証明書など
- 説 明 会 4月10日(木)、午後7時～、市民フ
ロア(沼津市役所別館)
- 応募期限 5月9日(金)
- 申込み・問合せ NICE 事務局 ☎34-2529